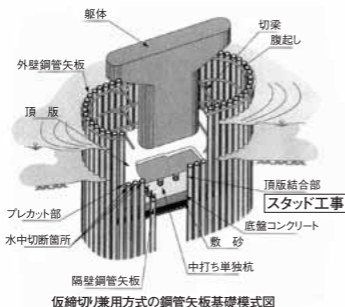


NSスタッド工法 鋼管矢板井筒基礎頂版結合工事 日鉄物産（株）

紹介

橋梁下部工の構築には「鋼管矢板基礎」があり、特に河川部或いは工事用地に制限がある場所で多く採用されています。

この鋼管矢板基礎の頂版結合部に当社が開発した「NSスタッド溶接工法」が主流となって、近年は100%この工法で施工しています。



特長

NSスタッド溶接工法には、主に以下2点の特徴があります。

①モニタリングによる品質管理【写真1】

溶接時間、溶接電流値、溶接電圧値、鉄筋の引上げ・押込み量を独自のモニターで管理することで、溶接部の欠陥を検出し、これを補修溶接することで100%全強の品質を確保します。

②4連スタッドガン自動溶接【写真2】

上記にあげた溶接時間などを全てをコンピューターにより自動制御させ、スイッチを押すだけで自動的に溶接が完了します。また当社独自の4連続スタッドガンを使用することにより高能率の連続施工が可能となります。



写真1 モニタリング画面



写真2 4連続スタッドガン

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。